

仙台高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	デザイン概論	
科目基礎情報							
科目番号	0146			科目区分	専門 / 選択		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	学修単位: 1		
開設学科	建築デザイン学科			対象学年	5		
開設期	後期			週時間数	1		
教科書/教材	前半：配布資料、 後半：配布資料						
担当教員	祝 亜弥,相模 誓雄						
到達目標							
前半：①近代建築の作品分析ができる。②近代建築デザインの流れがわかる。 後半：①建築の構成要素（形と空間の構成）について説明できる。②建築における形態（ものの形）について説明できる。③デザインプレゼンテーションができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	近代建築の作品分析が優れている。			近代建築の作品分析ができる。		近代建築の作品分析ができない。	
評価項目2	デザインの手法を理解し、プレゼンテーションに応用できる。			デザインの手法を理解している。		デザインの手法を理解していない。	
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	前半：近代は、産業革命による資本主義的生産様式の確立によって、工業デザインや広告デザインなどを生んだ。建築においても、西洋では国際様式の成立前に様々なデザイン運動が起こった。一方、日本は、まず西洋建築が建てられ、上記の運動の影響を受けた。これらの運動による近代建築作品について理解を深める。 後半：デザインの始まりから近代デザインについての歴史的背景を学び、デザインの発生と潮流を探る。さらに、デザインにおける「ヒト」と「モノ」との関係性、デザイン手法論について学ぶ。デザインの歴史的潮流を理解するとともにデザイン行為の基本と本質を理解できることを目標とする。						
授業の進め方・方法	前半：①近代建築の作品分析を行う。②発表を行い、近代建築デザインの流れを理解する。予習：ブラックボードで資料配布、復習：課題レポート作成、ブラックボードへ提出 後半：①様々な分野のデザイン手法や、近年におけるデザインの潮流について説明する。②アプリケーション等を用いて演習を行い、デザインプレゼンテーションに応用する。						
注意点							
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	4thQ	9週	近代建築史①海外の近代建築の作品分析			1つの作品の特徴や社会に及ぼした影響がわかる。	
		10週	近代建築史②日本の近代建築の作品分析			1つの作品の特徴や社会に及ぼした影響がわかる。	
		11週	作品分析の発表会			近代建築デザインの流れがわかる。	
		12週	デザインのトピック①			近年のデザインにおけるキーワードを理解できる。	
		13週	デザインのトピック②			近年のデザインにおけるキーワードを理解できる。	
		14週	グラフィックデザイン			グラフィックデザインの基礎を理解し、演習を通して実践できる。	
		15週					
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
専門的能力	分野別の専門工学	建築系分野	美術・デザイン	建築の構成要素（形と空間の構成）について説明できる。		3	
				建築における形態（ものの形）について説明できる。		3	
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	30	0	0	0	70	100
基礎的能力	0	30	0	0	0	0	30
専門的能力	0	0	0	0	0	70	70
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0